

# QR Newsletter



## 第四紀通信

Vol. 26 No.4, 2019



東海層群の甲虫化石 左は津市の約350万年前の亀山層産オオミズスマシ(長さ8.2mm)。現在は亜熱帯に生息する。右は桑名市の東海層群(約175万年前)産エゾオオミズクサハムシ(長さ5.2mm)。現在は北海道や東北地方北部に生息する。(撮影:森 勇一)

---

Vol. 26 No. 4

August 1, 2019

---

|                     |    |              |    |
|---------------------|----|--------------|----|
| 総会のお知らせ.....        | 2  | 評議員会議事録..... | 10 |
| 2019年大会案内(第6報)..... | 3  | 執行部会議事録..... | 15 |
| 学術賞・論文賞受賞者報告.....   | 10 | 会員消息.....    | 16 |

---

## ◆日本第四紀学会総会のお知らせとお願い

8月24日(土)に千葉科学大学にて2019年度総会が開催されます。総会は2018年度の事業報告が行われ、また2019年度事業計画が提案される重要な会議です。会員各位のご出席をお願いいたします。やむを得ず欠席される場合には、委任状(とじ込みはがきまたはファックス、メール)を必ずご提出下さい。8月19日(月)必着でお願いします。

- とじ込みはがきでの委任状提出の場合は、お手数ですが切手を貼り、締切日までに到着するように早めに投函下さい。
- ファックスでの委任状提出の場合は、とじ込みはがきか下記の様式に必要事項を記入し、下記のFAX番号宛にお願いします。  
FAX番号：03-5291-2176 日本第四紀学会事務局宛
- メールでの委任状提出の場合は、宛名を「2019年度総会議長」としたうえで、代理人氏名(「議長」でも可)、氏名、所属を明記し、daiyonki(at)shunkosha.com(学会事務局:「(at)」の部分「@」に変えて下さい)へ送信して下さい。メールの場合には、題名を「第四紀学会メール委任状(2019総会)」として下さい。

### 総 会 委 任 状

2019年 月 日

日本第四紀学会 2019年度 総会議長殿

私は日本第四紀学会 2019年度総会における一切の議決権を

- ( ) 会員に委任します。
- 議長に委任します。

上記のどちらかを選択し、□にチェックマーク ✓ を記入してください。  
会員は、総会に出席する会員(1名に限る)に議決権を委任することができます。  
一人の会員が他の会員から受けられる議決権は1票のみですので、委任する場合は本人の承諾を事前に得たうえで、その会員のお名前をお書きください。

氏名 ( ) (自筆に限る)  
所属 ( )

## ◆日本第四紀学会 2019年大会案内 (第6報)

本大会は、一般研究発表(口頭およびポスター)と公開シンポジウム「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」を中心に開催します。併せて、普及講演会「第四紀研究の最前線」、ジオパーク体験巡検および専門巡検を開催します。

### 1. 大会テーマ 「第四紀学とジオパークの連携：ジオパークで学会を開催する意義」

共同主催 日本第四紀学会、銚子ジオパーク推進協議会  
共 催 千葉科学大学

同時開催講演会

公開シンポジウム 「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」

普及講演会 「第四紀研究の最前線」

共 催 千葉科学大学、産業技術総合研究所地質調査総合センター

### 2. 開催場所

8月23日(金)～24日(土) 千葉科学大学マリーナキャンパス(一般研究発表)

受 付 講義棟2階(階段上)

口頭発表会場 講義棟2階2208教室

ポスター発表会場 講義棟2階2201教室

企 業 展 示 講義棟2階2208教室前

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15-8

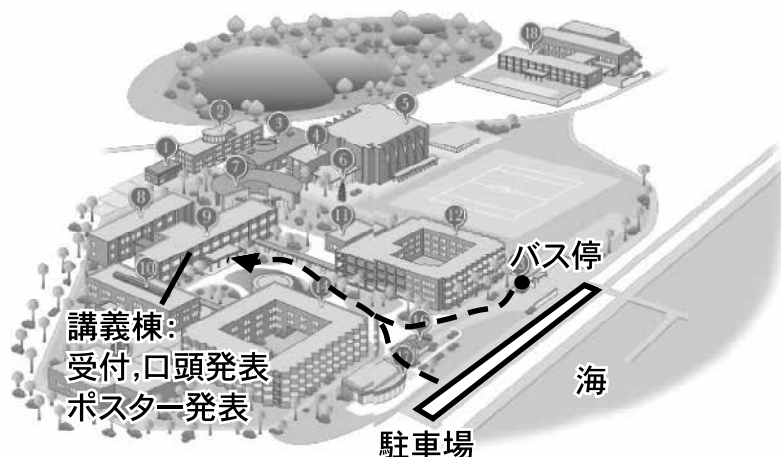
<http://www.cis.ac.jp/information/access/index.html>

アクセス JR総武線「銚子」駅下車、バスターミナルから千葉交通バス10分、「千葉科学大学マリーナ前」下車すぐ。夏休みなので、千葉交通バスは土曜・日祭日ダイヤで運行します。

<http://www.cis.ac.jp/information/access/bus.html>

大学には学生用の駐車場がありますので、車による会場への来訪をお勧めします。

昼食について：大学内の食堂、大学隣接のカフェで昼食をとれます。車で数分のところに魚料理の食堂があります。大学内のコンビニエンスストアは夏季休業中です。



8月25日(日) 銚子市すこやかなまなびの城(公開シンポジウム、普及講演会)

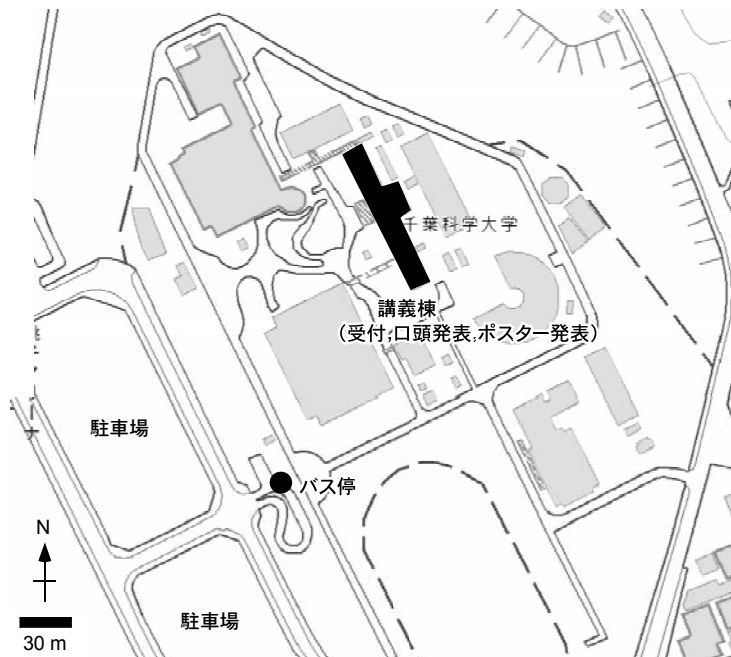
〒288-0047 千葉県銚子市若宮町4-8(銚子市役所向かい)

[https://www.city.choshi.chiba.jp/sisei/about\\_choshi/profile/access.html](https://www.city.choshi.chiba.jp/sisei/about_choshi/profile/access.html)

JR総武線「銚子」駅下車、徒歩10分。

すぐそばの市役所の駐車場に止められますので、車による会場への来訪をお勧めします。

昼食について：駅周辺または車で数分のところに魚料理の食堂があります。会場周辺にはコンビニエンスストアやスーパーもあります。



千葉科学大学構内図



千葉科学大学へのルート



すこやかなまなびの城の位置

千葉交通 銚子駅-千葉科学大学 バス時刻表  
(8月11日~9月16日の夏休みダイヤ運行 バス時刻)

料金 210円

| 銚子駅発  | 千葉科学大学<br>マリーナ前着 |
|-------|------------------|
| 8:17  | 8:28             |
| 8:45  | 8:56             |
| 9:55  | 10:06            |
| 10:25 | 10:36            |
| 11:15 | 11:26            |
| 12:21 | 12:32            |
| 14:25 | 14:36            |
| 15:46 | 15:57            |
| 16:22 | 16:33            |
| 16:53 | 17:04            |
| 18:08 | 18:19            |

| 千葉科学大学<br>マリーナ前発 | 銚子駅着  |
|------------------|-------|
| 9:02             | 9:13  |
| 10:12            | 10:23 |
| 10:42            | 10:53 |
| 11:32            | 11:43 |
| 12:42            | 12:53 |
| 14:47            | 14:58 |
| 16:05            | 16:16 |
| 16:40            | 16:51 |
| 17:13            | 17:24 |
| 18:25            | 18:36 |

## 3. 開催日程 2019年8月23日(金)～8月26日(月)

8月23日(金)

- 10:30～12:00 日本第四紀学会評議員会
- 12:00～12:30 昼休み
- ミニジオツアー (12:00～12:50)
- ポスター発表コアタイム (12:30～13:30)
- 13:30～18:00 一般研究発表 口頭PM1、PM2、PM3、ポスター
- 18:15～19:15 屏風ヶ浦サンセットクルーズ

8月24日(土)

- 9:00～12:10 一般研究発表 口頭AM1、AM2、ポスター
- 12:10～13:00 昼休み
- ミニジオツアー (12:30～13:20、13:30～14:20)
- ポスター発表コアタイム (13:00～14:30)
- 14:30～16:00 一般研究発表 口頭PM1、ポスター
- 16:00～18:00 日本第四紀学会総会・各賞授賞式
- 19:00～21:30 懇親会

8月25日(日)

- 9:00～12:00 公開シンポジウム「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」
- 12:00～13:30 昼休み
- 13:30～15:40 普及講演会「第四紀研究の最前線」
- 13:00～16:00 ジオパーク体験巡検「銚子のかたい岩めぐり」

8月26日(月) 専門巡検「銚子周辺における第四紀の地形・地質・考古」

| 8/23 (金)        |             |
|-----------------|-------------|
| 日本第四紀学会評議員会     | 10:30-12:00 |
| 昼食              | 12:00-12:30 |
| ミニジオツアー         | 12:00-12:50 |
| ポスターコアタイム2201教室 | 12:30-13:30 |
| 口頭PM1 2208教室    | 13:30-14:45 |
| 口頭PM2 2208教室    | 15:00-16:30 |
| 口頭PM3 2208教室    | 16:45-18:00 |
| サンセットクルーズ       | 18:15-19:15 |

| 8/24 (土)        |             |
|-----------------|-------------|
| 口頭AM1 2208教室    | 09:00-10:30 |
| 口頭AM2 2208教室    | 10:40-12:10 |
| 昼食              | 12:10-13:00 |
| ミニジオツアー         | 12:30-14:20 |
| ポスターコアタイム2201教室 | 13:00-14:30 |
| 口頭PM1 2208教室    | 14:30-16:00 |
| 日本第四紀学会総会・授賞式   | 16:00-18:00 |
| 懇親会             | 19:00-21:30 |

| 8/25 (日)      |             |
|---------------|-------------|
| 銚子市すこやかなまなびの城 |             |
| 公開シンポジウム      | 09:00-12:00 |
| 昼食、ブース展示      | 12:00-13:30 |
| 普及講演会         | 13:30-15:40 |
| ジオパーク体験巡検     | 13:00-16:00 |

| 8/26 (月) |             |
|----------|-------------|
| 専門巡検     | 09:30-17:00 |

## 4. 各種費用

- ・大会参加費(会員・非会員を問わず):2000円。会場受付でお支払いください。ただし、大学院生とジオパーク市民の会の方は1000円、70歳以上の会員と学部学生は無料です。
- ・講演要旨集: 予定価格2000円(会場で直接販売。ただし、発表数等によって価格が若干変動する場合があります)。
- ・懇親会 8月24日(土)19:00～  
詳細は通信第3号(6月号)参照  
会場:銚子電鉄車内および車庫  
お願い:地酒、地ビール、地元のつまみなど、差し入れをお待ちしています。

## 2019年大会案内 (第6報)

- 参加費：一般 5,000 円 (予約)、6,000 円 (当日)、院生・学生 3,000 円 (予約)、4,000 円 (当日) を会場受付でお支払いください。懇親会は事前申し込みがお得です。8月9日(金)17時まで下記へお申し込みください。e-mail:jaqua2019event(at)gmail.com (atを@に変える)。申し込み時のメール件名は「懇親会\_氏名」としてください。
- ・サンセットクルーズ 8月23日(金)18:15～19:15(予定)  
詳細は通信第3号(6月号)参照  
参加費：2,000円を会場受付でお支払いください。事前申し込みが必要です。8月9日(金)17時まで下記へお申し込みください。e-mail:jaqua2019event(at)gmail.com (atを@に変える)。申し込み時のメール件名は「サンセットクルーズ\_氏名」としてください。
  - ・ミニジオツアー：8月23日(金)12:00～12:50(予定)
    - ・犬吠層群中の第四紀基底と広域テフラ
    - ・海と川の魚が共存する不思議な水「好適環境水」24日(土)12:30～13:20(予定)
    - ・犬吠層群中の第四紀基底と広域テフラ
    - ・神社の自然林(照葉樹林)と砂浜上の二次林の遷移24日(土)13:30～14:20(予定)
    - ・犬吠埼の温泉と灯台からの地形遠望
    - ・楽しい理科の授業「ころりん」の体験詳細は通信第3号(6月号)参照。ただし、日時が変更になっています。全て無料、事前申し込み不要。5分前に会場受付に集合してください。
  - ・ジオパーク体験巡検：8月25日(日)13:00～16:00  
「銚子のかたい岩めぐり ―銚子の恵みはかたい岩のおかげ 岩はかたいけれど話はやわらかいよ―」  
詳細は通信第3号(6月号)参照  
参加費：1,000円を会場受付でお支払いください。事前申し込みが必要です。8月9日(金)17時まで下記へお申し込みください。e-mail:jaqua2019event(at)gmail.com (atを@に変える)。申し込み時のメール件名は「ジオパーク体験巡検\_氏名」としてください。
  - ・専門巡検 8月26日(月)9:30～17:00  
「銚子周辺における第四紀の地形・地質・考古」  
詳細は通信第3号(6月号)参照  
参加費：2,000円を会場受付でお支払いください。事前申し込みが必要です。8月9日(金)17時まで下記へお申し込みください。e-mail:jaqua2019event(at)gmail.com (atを@に変える)。申し込み時のメール件名は「専門巡検\_氏名」としてください。

## 5. 発表要領

### 【口頭発表】

- ・会場は講義棟2階の2208教室です。
- ・シンポジウム、一般研究発表の発表時間はプログラムをご確認ください。質疑を含む時間ですのでご注意ください。発表時間の厳守をお願いいたします。
- ・会場のプロジェクターへの接続は、講演者ご自身が持参したパソコンを使用してください。コンピュータウイルス対策のためです。ご理解とご協力をお願いいたします。
- ・パソコン持参が難しい場合は、大会事務局(jaqua2019presen(at)gmail.com) (atを@に変える)にご相談ください。
- ・OHPはありません。

### 【ポスター発表】

- ・会場は講義棟2階の2201教室です。
- ・ポスター発表は8月23・24日を通じて展示します。コアタイムは23日が12:30～13:30、24日が13:00～14:30です。コアタイムにはポスターの前にお立ちください。展示期間は24日16時までです。
- ・ポスターは幅900mm、高さ1700mm以内で用意してください。
- ・ポスターは指定されたボードに掲示してください。掲示用具は準備しますので、会場の指示に従ってください。

・ポスター会場では、コンピュータ用の電源などは使用できません。

## 6. 企業展示

講義棟 2 階の 2208 教室（口頭発表の会場）前にて、23 日 12 時から 24 日 16 時まで開催します。

## 7. 一般研究発表

### 【口頭発表】

プログラムは当日までに若干の修正の可能性があります。受付にて販売される要旨集のプログラムを確認してください。（★：学生発表賞審査対象 ☆：若手発表賞審査対象 \*：招待講演）

- 23PM1 竹本弘幸 ..... オリジナルデータの取り扱いと研究者倫理—学閥引用とその弊害
- 23PM1 奥村晃史 ..... トルコ・北アナトリア断層周辺地域のプレート内地震と地殻変動
- 23PM1 横山祐典・平林頌子・後藤和久・奥野淳一・スプローソン アダム・原口 強・ラトナヤケ ナリン・宮入陽介 ..... スリランカ沿岸部に記録された 7,000 年間のインド洋大津波の痕跡と完新世海水準
- 23PM1 兵頭政幸・上野友輔・楊 天水・加藤茂弘 ..... 下層雲の日傘効果の気候への影響—最後の地磁気逆転を利用した検証
- 23PM1 河村 愛 ..... 第四紀のゾウは海を泳いで島嶼へ渡来したのか？（☆）
- 休憩
- 23PM2 那須浩郎 ..... 縄文人はなぜ自ら農耕民にならなかったのか？
- 23PM2 清永丈太 ..... 日本産コナラ属の花粉生産量
- 23PM2 糟谷大河・有馬裕介・百原 新 ..... 下北半島北東部、青森県東通村で産出した中期更新世および完新世の菌類遺体と大型植物遺体
- 23PM2 福與直人・横山祐典・宮入陽介・五十嵐祐介 ..... 秋田県男鹿市赤神神社所蔵の木造狛犬・獅子像の放射性炭素年代測定（★）
- 23PM2 青木かおり・小林 淳・村田昌則・鈴木毅彦 ..... 房総沖掘削コア C9010E に介在するテフラ層の特徴と編年
- 23PM2 大井信三・西連地信男・須藤忠恭・安藤寿男 ..... 茨城県瓜連丘陵引田層における Tapk1 テフラの広域対比
- 休憩
- 23PM3 工藤雄一郎・酒井弘志 ..... 酒々井町墨古沢遺跡の環状ブロック群の年代と古環境
- 23PM3 中里裕臣 ..... 犬吠層群横根層 Yk8a,b テフラの分布と対比
- 23PM3 岡崎浩子・中里裕臣・奈良正和・田村 亨・伊藤一充 ..... 千葉県屏風ヶ浦の上部更新統香取層の堆積シーケンスとその堆積様式
- 23PM3 山本啓介・猪股裕行・桑野太輔・亀尾浩司・岩本直哉・岡田 誠（★） ..... 銚子地域に分布する海成下部更新統の微化石—古地磁気—酸素同位体複合層序
- 23PM3 手束聡子（\*） ..... 犬吠埼温泉の源泉の成分と放射性炭素年代
- 24AM1 細根清治 ..... ボーリングデータから推定される黒ボク土が堆積した地形地質条件と時代
- 24AM1 杉中佑輔・遠藤邦彦・石綿しげ子・須貝俊彦・千葉達朗・中山俊雄・堀 伸三郎 ..... 地質層序システムを活用した東京 23 区の武蔵野礫層の空間分布（その 2）（☆）
- 24AM1 北村晃寿・山本有夏・山田和芳・久保篤史・豊福高志・中川友紀 ..... 三浦半島の現世干潟堆積物に関する堆積学的・地球化学的・古生物学的解析
- 24AM1 遠藤邦彦・上杉 陽・鈴木正章・宮原智哉・須貝俊彦・石綿しげ子・堀 伸三郎・杉中佑輔・大里重人・谷 芳生 ..... 神奈川県秦野盆地で採取されたオールコアボーリング試料のテフラ層序とその意義
- 24AM1 村田昌則・小林 淳・青木かおり・鈴木毅彦 ..... 伊豆諸島神津島火山の天上山および櫛ヶ峰におけるテフラ層序とその対比
- 24AM1 佐藤俊文 ..... 上総丘陵の尾根上に見出されたテフラと地形
- 休憩
- 24AM2 小林 淳・萬年一剛・山口珠美・長井雅史 ..... 箱根火山神山・大涌谷周辺の最新期火口列の形成年代と 2015 年噴火の位置づけ
- 24AM2 太田耕輔・横山祐典・宮入陽介・山本真也 ..... 富士五湖における表層水中溶存無機炭素の放射性

炭素年代の月毎変動と炭素リザーバー効果 (★)

- 24AM2 百原 新・植木岳雪・齋藤 毅 ..... 魚沼層群の大型植物化石群とその酸素同位体ステージへの対比に基づく前期更新世の気温と植物相の変化
- 24AM2 荻谷愛彦 ..... 天守山地・三石山西面で更新世後期末に発生した大規模斜面崩壊
- 24AM2 阿部朋弥・中島 礼・納谷友規・水野清秀 ..... 西三河平野南西部地下に分布する更新統の層序の再検討 (☆)
- 24AM2 森 勇一・田中里志・西松賢一郎・大塚友恵・服部哲也 ..... 「入鹿切れ」150年前のため池崩壊堆積物を掘る

昼 休 み

- 24PM1 里口保文・加 三千宣・林 竜馬・芳賀 裕 ..... 琵琶湖南湖の堆積速度
- 24PM1 研川英征・栗栖悠貴・榎本壮平 ..... ICTの活用による災害初動における情報収集について一倉敷市真備における平成30年7月豪雨による事例一
- 24PM1 公文富士夫・滝沢侑子 ..... 隠岐堆 MD01-2407 コアの TOC 変動から見た第四紀中・後期の日本の環境変動
- 24PM1 植木岳雪 ..... 四国南東部における河成段丘の編年
- 24PM1 加 三千宣・鈴木克明 ..... 人新世一完新境界補助ストラトタイプとしての別府湾堆積物のポテンシャル
- 24PM1 村上瑞季・平山 廉 ..... 早稲田大学本庄考古資料館の直良コレクションに含まれる鯨類標本の再検討 (\*)

【ポスター発表】 (★：学生発表賞審査対象 ☆：若手発表賞審査対象)

コアタイム 23日 (12:30～13:30) 24日 (13:00～14:30)

- P1 藤井和香・兵頭政幸・加藤茂弘・宮入陽介・山口夢香・横山祐典 ..... 中期更新世最初期の100年スケールの気候変化一太陽活動との関連性 (★)
- P2 野口真利江・須貝俊彦・宮本 樹・石綿しげ子・杉中佑輔・三橋さゆり・大里重人・鈴木正章・遠藤邦彦 ..... 関東平野中央部、栗橋コア(埼玉県久喜市)を用いた珪藻分析による古環境復元 (☆)
- P3 田辺祥汰・三木雅子・兵頭政幸・北場育子・山田圭太郎・中川 毅・北川淳子・Suigetsu 2014 Project Members..... 水月湖年縞堆積物で見つかった更新世末の地磁気エクスカージョンの検証 (★)
- P4 井内美郎・肖 拳榮 ..... 度別日射量差の変遷に示される夏季モンスーン強度変遷
- P5 西連地信男・大井信三 ..... 阿武隈山地南端部に発達する高位段丘群
- P6 植木岳雪 ..... 茨城県南部、土浦低地における最終氷期以降の地形発達史
- P7 小松原純子 ..... 古海面指標に基づいた九十九里平野における最近1万年間の地殻変動傾向
- P8 杉中佑輔・遠藤邦彦・石綿しげ子・須貝俊彦・千葉達朗・舟津太郎・中山俊雄・堀 伸三郎 ..... 東京23区臨海部における埋没平坦面と武蔵野面の対応関係 (☆)
- P9 高橋尚志・青木かおり・村田昌則・鈴木毅彦 ..... 氷河性海水準変動と海底地形を踏まえた伊豆諸島の火山活動史構築にむけて (☆)
- P10 宇津川 徹 ..... 土壤環境中の動物珪酸体一埴輪・土偶一(II)
- P11 和田恵治 ..... 北海道、摩周カルデラ火山の噴火史と地形発達
- P12 宮入陽介・近藤玲介・横田彰宏・富士田裕子・横山祐典 ..... 泥炭ウイグルマッチングを用いた高精度<sup>14</sup>C火山噴火年代決定の可能性の検討
- P13 伊藤拓馬・中里裕臣・橋本 励・薛 自求 ..... 房総半島中東部の上総層群から掘削されたボーリングコアの層序と堆積サイクル (☆)
- P14 田村糸子・水野清秀・山崎晴雄 ..... 千葉県銚子地域に分布する犬吠層群名洗層のテフロクロノロジー
- P15 河合貴之・西澤文勝・山田真嵩・鈴木毅彦 ..... 北関東・北信地域における大町 APm テフラ群の対比および中部更新統の編年の再検討
- P16 加藤茂弘・生野賢司・藤原泰誠・郷津知太郎・菊池直樹 ..... 兵庫県北部、豊岡市畑上の海成上部更新統の貝化石の ESR 年代
- P17 丸山誠史・竹村恵二・牧野内 猛・平田岳史・檀原 徹 ..... 火山ガラスの多元素濃度測定データへの階層型クラスター分析の応用
- P18 糟谷大河・渡邊満哉・菊池芳文 ..... 海岸植物スカシユリ *Lilium maculatum* の系統地理



- P19 岩原こころ・百原 新・工藤雄一郎 ..... 千葉県市原市道免き谷津遺跡の縄文時代後晩期における古植生の分布と人間活動の関係 (★)
- P20 島田和高・吉田明弘・橋詰 潤・隅田祥光 ..... 最終氷期の中部高地と黒曜石原産地における人間—環境相互作用
- P21 吉田保裕・林 竜馬・山川千代美・神谷悦子・村上由美子・横田洋三・堂満華子 ..... 滋賀県湖北地域塩津港遺跡における平安時代後期の花粉分析に基づく植生復元 (★)
- P22 大井信三・高田正澄・西連地信男 ..... 筑波山地域ジオパークにおけるジオストーリーの構築—ハス田と癒やしの里のジオ—
- P23 岩本直哉・銚子ジオパーク推進協議会事務局 ..... 屏風ヶ浦の景観を守れ！ 銚子ジオパークの保全活動
- P24 高橋 唯・中村有吾・河野智津・岩川好美・小松毅士 ..... 住民と作る海成段丘農業体験ツアー

## 8. 公開シンポジウム「関東平野東部における第四紀研究の最近の成果」

銚子を中心とした関東平野東部における第四紀学とそれに関わる基盤地質、古生物の最近の研究成果をレビューしていただきます。

会場：銚子市すこやかなまなびの城。参加費無料。事前申し込み不要。

- 8月25日(日) 9:00～9:45 日本列島東西圧縮の原因—海底から大地、そして山国へ—..... 高橋雅紀(産総研)
- 9:45～10:15 銚子地域における層序・テフラに関する第四紀編年研究：関東平野形成過程復元のための優れた標準層序提供フィールド ..... 鈴木毅彦(首都大学)
- 10:15～10:30 休憩
- 10:30～11:00 過去の多様性はどこまで保存されているか：日本最大の鯨類化石産地・銚子市名洗層“下部”の鯨類化石群 ..... 村上瑞季(秀明大学)
- 11:00～11:30 九十九里海岸の地形と表層地質 ..... 田村 亨(産総研)
- 11:30～12:00 霞ヶ浦・利根川流域における縄文時代の環境と貝塚 ..... 一木絵理(上高津貝塚ふるさと歴史の広場)

## 9. 普及講演会「第四紀研究の最前線」

若手と中堅の第四紀学の研究者から、最先端の研究成果を市民にわかりやすく解説していただきます。専門研究者もぜひお越しください。

会場：銚子市すこやかなまなびの城。参加費無料。事前申し込み不要。

- 8月25日(日) 13:30～14:20 安定した気候の時代はいかに始まり、いかに終わるのか：2つの地質学的記録と「文明の時代」の寿命 ..... 北場育子(立命館大学)
- 14:30～15:20 堆積物から探る関東の巨大地震と津波 ..... 藤原 治(産総研)
- 15:20～15:40 市民からの質問タイム

## 10. 大会実行委員会および行事委員会

大会実行委員長：植木岳雪(千葉科学大)

大会実行事務局長：岩本直哉(銚子ジオパーク)

実行委員：安藤生大・塚本浩司・手束聡子・山口太一(以上、千葉科学大)、糟谷大河(慶応義塾大)、小川正俊・山内祥行・高根 咲・赤塚弘美(以上、銚子ジオパーク事務局)、工藤忠男(銚子ジオパーク市民の会)

行事委員会：藤原 治(産総研)・加 三千宣(愛媛大)・米田 穰(東京大)・岡田 誠(茨城大)・山田和芳(ふじのくに地球環境史ミュージアム)

連絡先：2019年大会実行委員会事務局

〒288-0025 千葉県銚子市潮見町15-8 千葉科学大学危機管理学部 植木岳雪  
(TEL:0479-30-4647、メール:tueki(at)cis.ac.jp) (atを@に変える)

大会用メールアドレス：jaqua2019presen(at)gmail.com および jaqua2019event(at)gmail.com

(atを@に変える)

## ◆ 2019 年日本第四紀学会 学術賞・論文賞受賞者決定

日本第四紀学会では、学会賞、学術賞、若手学術賞、論文賞、奨励賞を設け、顕彰を行っております。2019 年の各賞の選考が行われ、受賞者が決定されましたのでご報告致します。

学会賞は第四紀学の発展に貢献した顕著な業績を有し、また日本第四紀学会の活動に著しい貢献があった正会員に授与される、学会における最高の賞です。学術賞は第四紀学に貢献した優れた学術業績をあげた正会員に授与されます。若手学術賞は、国際誌等を通じて第四紀学に貢献した優れた論文を発表した若手会員（選考が行われる当該年の 4 月 1 日時点で 39 歳以下の会員）に授与される賞です。会員から各賞の受賞者候補者の推薦・立候補を受け付け、1 月 31 日をもって締め切られました。その後、学会賞選考委員会（委員長：齋藤文紀、副委員長：久保純子、委員：遠藤邦彦、小野 昭、中村俊夫）によって学術賞候補者 2 名が推薦され、6 月 30 日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

### ●日本第四紀学会学術賞

受賞者：奥野 充 会員

受賞件名：「放射性炭素年代測定に基づく第四紀後期の火山活動史と古環境・考古編年への貢献」

受賞者：長橋良隆 会員

受賞件名：「化学分析に基づくテフラの岩石学的特徴と広域対比・編年の研究」

論文賞及び奨励賞は、会誌「第四紀研究」に掲載された第四紀学の発展や進歩に貢献する優れた論文を公表した会員を含む著者に授与されるもので、とくに奨励賞は若手研究者（会員）の育成と研究奨励に寄与することを目的としています。会員から候補者（候補論文）の推薦・立候補を受け付け、1 月 31 日をもって締め切られました。その後、論文賞選考委員会（委員長：横山祐典、委員：前杢英明、近藤 恵、納谷友規、田力正好）によって、論文賞候補論文 1 件が推薦され、6 月 30 日に行われた評議員会において、下記の通り受賞者が決定されました。

### ●日本第四紀学会論文賞

受賞論文題目：「西南日本・紀の川流域に分布する鮮新一更新世菖蒲谷層群テフラの識別と対比（英文）」．第四紀研究、第 57 巻、6 号、p. 211-227, 2018

著者名：丸山誠史・竹村恵二・平田岳史・岩野英樹・山下 透・壇原 徹

## ◆日本第四紀学会 2018 年度第 3 回評議員会議事録

日時：2019 年 6 月 30 日（日）10:00～11:10

場所：東京大学理学部 2 号館講堂

出席：齋藤文紀（会長）、鈴木毅彦（副会長）、松浦秀治（副会長）、青木かおり、吾妻 崇、出穂雅実、植木岳雪、奥村晃史、北村晃寿、工藤雄一郎、久保純子、小荒井 衛、宍倉正展、須貝俊彦、藤原 治、三浦英樹、横山祐典、米澤正弘、米田 穰

オブザーバー：遠藤邦彦（元会長）、永峯菜穂子（学会事務局）

議事：

藤原行事委員長から開会の辞があり、齋藤会長から挨拶があった後、宍倉議長代理により定足数を満たしている（出席 19 名、委任状 13 通）ことが

確認され、下記の審議が行われた。

(1) 2019 年学会賞・学術賞・若手学術賞の選考結果について、学会賞選考委員会の齋藤文紀委員長から説明があり、下記の 2 名に学術賞を授賞することと選考理由の内容が承認された。

奥野 充会員

「放射性炭素年代測定に基づく第四紀後期の火山活動史と古環境・考古編年への貢献」

長橋良隆会員

「化学分析に基づくテフラの岩石学的特徴と広域対比・編年の研究」

(2) 2019 年論文賞・奨励賞の選考結果について、論文賞選考委員会の横山祐典委員長から説明があり、下記の 1 編に論文賞を授賞することと選考理

由の内容が承認された。

「西南日本・紀の川流域に分布する鮮新一更新世  
菖蒲谷層群テフラの識別と対比（英文）」

第四紀研究, 第 57 巻, 6 号, p.211-227, 2018

丸山誠史・竹村恵二・平田岳史・岩野英樹・山  
下 透・壇原 徹

(3) 2019-2020 年度役員・委員体制について、役員選挙の結果と併せて吾妻庶務委員長から説明があり、現在までに決まっている体制（資料 1）が承認された。今後追加される委員については、2019 年度大会中に開催される次回評議員会で承認手続きを行うこととした。

(4) 「常設委員会規程」及び「名誉会員候補者選考規程」の一部改正について松浦副会長から説明があり、資料 2 のとおり改正することが承認された。

(5) 「第四紀研究投稿規定」の一部改正について北村編集委員長から説明があり、資料 3 のとおり改

正されることが承認された。

(6) 規程類に掲載されている学会事務局の住所のうち、階に関する情報を削除することとした。会則への反映については、2019 年度総会で承認手続きを行うこととした。

(7) 領域代表及び委員会の連絡用にメーリングリストを設置することについて説明された。

(8) 2019 年 7 月にアイルランドのダブリン市で開催される INQUA 大会および現在検討中のチバニアン  
の提案状況について齋藤会長から説明があった。

(9) 松浦副会長から、評議員会における議決に関して、通常開催の評議員会の場合（評議員会規程第 6 条 1 項）と電磁的方法で開催された評議員会の場合（会則第 14 条 7 項、評議員会規程第 6 条 2 項）との相違点（議決権を有する範囲の違い）について確認があった。

以上

## 資料 1

### 2019-2020 年度役員・委員体制について

|          |   |      |
|----------|---|------|
| 会長       | 齋藤文紀  |      |
| 副会長      | 鈴木毅彦  | 高原 光 |
| 会計監査     | 久保純子  | 松浦秀治 |
| 領域代表     | 横山祐典（領域 1）、奥村晃史（領域 2）、里口保文（領域 3）、<br>工藤雄一郎（領域 4）、小森次郎（領域 5）   |      |
| 庶務委員会    | 水野清秀*、久保田好美、吾妻 崇、江口誠一、前杵英明  |      |
| 会計委員会    | 齋藤めぐみ*、阿部彩子、三浦英樹、青木かおり、植木岳雪   |      |
| 編集委員会    | 北村晃寿*、中川 毅、苅谷愛彦、里口保文、米澤正弘   |      |
| 広報委員会    | 白井正明*、オプラクタ スティーブン フィリップ、兵頭政幸、那須浩郎、植木岳雪   |      |
| 行事委員会    | 藤原 治*、池原 実、岡田 誠、井上 淳、目代邦康   |      |
| 渉外委員会    | 小荒井 衛*（防災学術連携体）、山田和芳（JpGU プログラム）、<br>卜部厚志（JpGU 環境災害対応）、百原 新（自然史学会連合）、<br>小森次郎（地学オリンピック）、植木岳雪（ジオパーク） |      |
| 法務委員会    | 池原 研、竹村恵二、中村俊夫、三田村宗樹、宮内崇裕   |      |
| 学会賞選考委員会 | 齋藤文紀*、中村俊夫、小野 昭、竹村恵二  |      |
| 論文賞選考委員会 | 池原 研、長橋良隆、紀藤紀夫、黒木貴一   |      |

\*印は委員長

## 規程の一部改正について

## (1) 常設委員会規程 第 4 条

## ・ 現行

第 4 条 委員長は、委員会を統括する。委員長が任期中に長期職務に携わることができない場合には、委員の中から委員長代理を選出する。

2. 委員長は執行部会に出席する。委員長が出席できない場合には、委員の中から代理のものが出席する。

## ・ 改正案

第 4 条 委員長は、委員会を統括する。委員長が長期職務に携わることができない場合等必要に応じて、委員の中から委員長代理を選出する。

2. 委員長は執行部会に出席する。委員長が出席できない場合には、委員の中からの代理出席を認める。

## ・ 理由

現行第 4 条 1 項では「委員長代理を選出」となっているが、「代理」は同条 2 項や執行部会規程第 8 条にもあるように、執行部会の会毎に臨時のものとして認識されるので、区別するため、「代行」と改正する。

また、現行第 4 条 2 項で「委員長が出席できない場合には、代理のものが出席する」と記されているので、これでは出席しなくてはならないことになるが、実際は代理を見つけることが難しいこともある。執行部会規程第 8 条には「各領域代表・常設委員会委員長については、各領域および委員会からの代理を認める」とあるので、これに沿って改正する。

## (2) 常設委員会規程 第 5 条

## ・ 現行

第 5 条 委員長及び委員の任期は、役員選挙が行われた年の 8 月 1 日から 2 年間とする。ただし、再任を妨げない。

## ・ 改正案

第 5 条 委員長及び委員の任期は、役員選挙が行われた年の 8 月 1 日から 2 年間とする。ただし、渉外委員会委員の任期は、委嘱先の規定に従うものとする。

2. 委員の再任は妨げない。

## ・ 理由

渉外委員会内規の 3 で「委員の任期は、委嘱先の規定に従うものとする。」となっているので、これに合わせる。また再任に関する条文については 2 項とする。

## (3) 名誉会員候補者選考規程 第 4 条

## ・ 現行

第 4 条 選考委員会は、会長により委嘱される若干名の正会員で構成される。委員の任期は、委嘱された日から評議員会への答申を終える日までとする。

## ・ 改正案

第 4 条 選考委員会は、会長により委嘱される若干名の正会員で構成される。委員の任期は、委嘱された日から評議員会への答申を終える日までとする。

2. 委員の互選により委員長を選出する。

## ・ 理由

名誉会員選考委員会は功労賞の選考も行い、功労賞選考に関する内規の 5 に「功労賞受賞者の決定は、評議員会において選考委員会の委員長が報告した受賞候補者とその推薦理由を踏まえ、評議員会がこれを決定する。」とあるが、同内規あるいは名誉会員候補者選考規程のどこにも委員長の選出に関する条文がないので、親規程の名誉会員候補者選考規程に追加する。

## 第四紀研究投稿規定

(2011年8月26日, 2013年8月22日, 2017年12月17日,  
2019年1月12日, 2019年6月30日 評議員会一部改正)

### 1. 投稿資格

投稿者の少なくとも1人は投稿時に本会会員であること。ただし、編集委員会による依頼投稿の場合はこの限りではない。

### 2. 第四紀研究に投稿しうる原稿

内容が日本第四紀学会倫理憲章前文にある第四紀に関わるものであり、体裁が別に定めた「執筆要項」に合致する、と編集委員会が認めたもの。

2-1. 言語：日本語または英語。

2-2. 原稿の種目

**論説 Article**：投稿者自身によるオリジナルで未公表の研究成果をまとめたもの。

**短報 Short Article**：研究の中間報告など大きな研究の一部をなすもの、および速報性を必要とするもの、および資料として特に重要なもの。

**総説 Review**：ある分野に関する研究成果を総覧し、総合的にまとめ、研究史、研究の現状、将来への展望などにふれたもの。

**討論 Discussion**：本誌に掲載された論説・短報・総説などについて、投稿原稿のかたちで1年間、コメント(賛否・注釈・質問など)を受け、編集委員会の判断により、意義のあるものを誌上に公開する。必要に応じて、原著者の回答も掲載する。

**資料 Note**：露头・化石・遺物・景観などのスケッチ・写真および第四紀学的に貴重な標本・資試料などに平易な説明をつけたもの。

**口絵 Pictorial**：第四紀学に関連する露头・化石・遺物・景観などの写真や重要な図などに簡単な説明をつけたもの。ただし、カラー化によって情報を出すことが不可欠であると編集委員会が認めたものに限る。

**解説 Comment**：第四紀学に関連するテーマ・用語などについての解説。

**講座 Lecture**：ある分野の研究の現状・成果や調査法・分析法などを、特に他分野の会員に紹介・普及する目的で平易に書かれたもの。

**書評 Book Review**：単行本などの内容の紹介および批評。

**雑録 Miscellany**：学会もしくは第四紀学に関する記事・報告など。ただし、編集委員会が認めたものに限る。

2-3. **原稿の長さ**：総説は刷り上がり18ページ以内、論説・講座は16ページ以内、短報は6ページ以内、討論・解説・資料は4ページ以内、口絵・書評は2ページ以内とする。なお、刷り上がり1ページは25字×43行×2段である。やむを得ず超過した場合は、その費用は依頼原稿を除き著者の負担とする。

2-4. **電子付録**：著者の申し出があり、かつ別途定める第四紀研究電子付録掲載要項に基づいて編集委員会が適当と判断する場合、原稿の掲載にあわせて、原稿の内容の一部を第四紀研究電子付録として日本第四紀学会ホームページに掲載することができる。

### 3. 不正行為(特定不正行為)の禁止

以下に示す、投稿者による不正行為(特定不正行為)<sup>注1</sup>を禁止する。

(1) 捏造 存在しないデータ、研究結果等を作成すること。

(2) 改ざん 研究資料・機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。

(3) 盗用 他の研究者のアイデア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を当該研究者の了解又は適切な表示なく流用すること。

注1. 不正行為(特定不正行為)については以下に基づく。

文部科学省「研究活動における不正行為への対

応等に関するガイドライン」

(<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/kenzensei/pdf/mondaikento-shiryo2201-4.pdf>)

#### 4. 二重投稿の禁止

二重投稿とは、印刷物あるいは電子媒体において、既に出版された、ないしは、他の学術誌に投稿中の論文と本質的に同一の内容の原稿をオリジナル論文として投稿する行為である<sup>注2</sup>。二重投稿を第四紀研究では禁止する。

注2. 二重投稿については以下に基づく。

日本学術会議「回答 科学研究における健全性の向上について」

(<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/pdf/kohyo-23-k150306.pdf>)

#### 5. 著作権

5-1. ほかの出版物または投稿中の論文と重複した内容を持つ原稿は、投稿原稿の本文中に必ずその旨を明記し、投稿者自身で著作権問題を解決し、かつそれを示す資料を添える。

5-2. ほかの出版物より図・表などを引用する場合は、転載許可を受けるなど、投稿者自身が著作権問題を解決しておくものとする。

5-3. 掲載された論文の著作権(著作財産権, copyright)およびすべての媒体を通じての公表に関する権利は、本誌(冊子体・電子媒体などの形式にかかわらず)に掲載された時点から日本第四紀学会に帰属するものとする。

5-4. 日本第四紀学会が著作権を保有する著作物を利用するにあたっては、別途定める出版物利用規定に従い、日本第四紀学会からの受諾を得るものとする。

#### 6. 投稿手続き

投稿は以下のいずれかによる。

郵送による投稿の場合は、封筒に「第四紀研究原稿」と明記して原稿・図・図版・表・送り状のコピー3部とその電子ファイルを、所定の保証書(押印またはサイン入り)とともに、編集委員会(本規定の末尾及び会誌奥付の学会事務局の住所)に送付する。なお、編集委員会から要請があった場合には、図・図版・表の原図を提出する。

電子投稿の場合は、「原稿・図・図版・表・送り

状・所定の保証書(押印またはサイン入り)」をPDF形式で保存し、電子メールの添付書類として、編集委員会(本規定の末尾および会誌奥付の学会事務局のメールアドレス)に送付する。原稿・図・図版・表は可能な限り一つのファイルとする。ファイルが5MBより大きい場合には大容量ファイル転送サービスを利用する。

#### 7. 受付

編集委員会が原稿を受けとった日を受付日とする。

#### 8. 受付後の原稿の処理

8-1. 編集委員会は、投稿原稿の内容に応じてレフェリーを決め、査読を依頼する。

8-2. 編集委員会は、査読結果を参考に原稿の内容・表現に問題があると判断したときには、投稿者に修正を求めることができる。また「執筆要項」に従い、用語・用字などを変更することがある。活字の種類・大きさ、図表の大きさや全体の体裁は、編集委員会が決める。

8-3. 原稿が修正のため投稿者の手元にかえったまま、6ヶ月経過したときは、その投稿原稿は取り上げられたものとみなす。

8-4. 投稿原稿の受理は編集委員会が決める。編集委員会が掲載を決定した日付をもって受理日とする。投稿者は、編集委員会から投稿原稿受理の通知があった場合には、著作権等譲渡同意書に必要な署名をし、最終原稿とともに提出する。これにより、掲載が許可される。

8-5. ワードプロセッサ使用の原稿は、受理時の最終原稿の電子ファイルを提出する。

8-6. 受理後、原稿の細部の体裁は、編集委員会が調整・判断し、修正を求めることがある。

8-7. 投稿原稿の掲載不可は編集委員会が決める。掲載不可となった原稿・図・図版・表などは返却する。

#### 9. 校正

著者校正は初校時のみ行う。著者校正時の加筆は原則として認めない。著者は、初校ゲラを受け取ったら速やかに校正を行ない、編集委員会(編集書記)に返送する。期日までに返送がない場合は、著者校正を省略するか、次号にまわすこともある。

校正時の著者責任による図・表等の差し替えにかかる費用は全額著者負担とする。

#### 10. 別刷

別刷は50部単位で希望することができる。別刷費用については別途定める。掲載された原稿の電子ファイル(PDFファイル)は著者(論文責任者)に提供される。

#### 11. 原稿の返却

掲載された原稿・図・図版・表などは返却しない。掲載されなかった原稿・図・図版・表などは返却する。

#### 12. 投稿規定の改正

この「投稿規定」の改正は、執行部会が原案を作り、評議員会に報告して承認を求める。「執筆要項」および「電子付録掲載要項」は編集委員会がこれを定め、改正があったときは執行部会に報告し、承認を求める。

付則 本規定は2019年6月30日から実施する。

・上記の投稿規定 2-3 超過分の著者負担は、1ページにつき 10,000 円とする。

・原稿送付先：〒169-0072 東京都新宿区大久保 2-4-12 新宿ラムダックスビル 日本第四紀学会編集委員会

メールアドレス daiyonki@shunkosha.com

### ◆日本第四紀学会 2018 年度第 7 回執行部会議事録

日時：2019 年 6 月 23 日 (日) 9:30 ~ 12:40

会場：首都大学東京 秋葉原サテライトキャンパス 会議室 B

出席：齋藤文紀(会長)、鈴木毅彦(副会長)、松浦秀治(副会長)、吾妻 崇(庶務委員会)、三浦英樹(会計委員会)、小荒井 衛(渉外委員会)、兵頭政幸(領域 3)、高原 光(領域 4)、植木岳雪(領域 5)

欠席：北村晃寿(編集委員会)、百原 新(広報委員会)、藤原 治(行事委員会)、池原 研(領域 1)、須貝俊彦(領域 2)

オブザーバ：永峯菜穂子(学会事務局)、宮地良典(庶務委員会)

議事：

- (1) 各委員会および各領域から活動報告を行った。
- (2) 2019 年大会の準備状況を確認した。
- (3) 2019 年学会賞・学術賞・若手学術賞の受賞候補者選考結果を確認し、原案のまま、評議員会に

諮ることとした。

(4) 2019 年論文賞・奨励賞の受賞候補者選考結果を確認し、答申の宛名を会長名に修正した上で、評議員会に諮ることとした。

(5) 「常設委員会規程」および「名誉会員候補者選考規程」の一部改正について検討し、原案のまま、評議員会に諮ることとした。

(6) 編集委員会から提案があった投稿規定改正(案)について検討し、一部の文言ならびに保証書の文言を修正した上で、評議員会に諮ることとした。

(7) 領域活動担当の副会長と各領域の領域代表の間、領域代表・領域幹事および領域から選出された委員の間、委員会メンバーの間で連絡を取るためのメーリングリストを設置することとした。

(8) 次回執行部会を 2019 年 8 月 10 日(土)の午前中に開催することとした。

以上

★★★ 第四紀通信に情報をお寄せ下さい ★★★

第四紀通信の原稿は随時受け付けております。

広報委員長：百原 新 (arata(at)faculty.chiba-u.jp) 宛にメールでお送り下さい。

第四紀通信は奇数月月上旬原稿締め切り、偶数月 1 日刊行予定としていますが、情報の速報性  
ということから、版下が出来た段階でホームページに掲載するよう努力しています。

奇数月 20 日頃にはホームページにアップするようになっていますのでご利用下さい。

日本第四紀学会広報委員会 千葉大学大学院 園芸学研究科 百原 新  
〒 271-8510 千葉県松戸市松戸 648 FAX : 047-308-8720

広報書記：那須浩郎・糸田千鶴・奥村公弥子・岩本容子

日本第四紀学会ホームページ <http://quaternary.jp/> から第四紀通信バックナンバーの PDF ファイル  
を閲覧できます。

日本第四紀学会事務局

〒 169-0072 東京都新宿区大久保 2 丁目 4 番地 12 号 新宿ラムダックスビル 10 階  
株式会社春恒社 学会事業部内

E-mail : daiyonki(at)shunkosha.com 電話 : 03-5291-6231 FAX : 03-5291-2176